

**【第308号 紙面案内】**

第2面……理事会 第76回全国研究大会関連

第4面……各部会からのお知らせ

第7面……山城賞および山城賞奨励賞募集

第8面……第77回全国研究大会・自由論題報告募集

第9面……機関誌委員会・事務局より

会報をお届けします

会報委員会副委員長 小野瀬 拓 (駒澤大学)

2017年最後の会報は会員名簿と一緒にの発送となりました。一つの区切りということで、この巻頭言では「会報とはどんなものか？」について、特に入会後間もない会員の皆様様に、簡単に紹介致します。

およそ会報は「①理事会・常任理事会・会員総会の議事録」、「②全国研究大会関連のお知らせ」、「③各部会からの案内と報告」、「④機関誌・山城賞等の連絡」、「⑤事務局からの連絡」の順で構成されております（ナンバリングは解説のためつけております）。この面をめくりますと、まず理事会報告が掲載されております。理事会の他、常任理事会や会員総会が開催されましたら、最初に記事があります。

次に、「②全国研究大会関連のお知らせ」として、先月熱い議論が繰り広げられました広島経済大学での全国研究大会の様子を掲載しております。ご欠席された会員の皆様にも当日の熱気を感じ取っていただければと考えております。なお全国研究大会開催前にはプログラムや企業見学の案内が①よりも先に掲載されることが多いです。

「③各部会からの案内と報告」として、中部部会と関西部会からの記事が掲載されております。ここには、各地方部会や研究部会の案内が掲載されます。日本全国で様々な部会が開催されております。ご所属の部会以外の研究報告も知ることができます。色々な部会に参加されてみてはいかがでしょうか。

全国研究大会でのご報告や、機関誌への論文投稿ご希望の方は、その次の「④機関誌・山城賞等の連絡」をご覧ください。今号は山城賞の募集も掲載されておりますので、是非ご参照下さい。なお、毎号募集記事が掲載されるわけではございませんので、ご注意ください。

「⑤事務局からの連絡」では様々なご案内がなされます。新著もここで紹介させていただいております。会員皆様様の研究成果を知るばかりでなく、ぜひ皆様に研究成果をお知らせ下さい。

今回も会員皆様様の暖かなご協力を賜り、会報を発行することができました。この場をお借りしまして心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

そんな多くの方々の暖かさに触れることのできる会報です。今号もどうぞご覧ください。

理事会報告

- 1) 日 時：平成29年10月13日(金) 17:45~19:00
- 2) 場 所：広島経済大学 立町キャンパス (サテライト)
- 3) 議 題：
 - (1) 第76回全国研究大会の準備状況の報告
大会実行委員長瀬戸先生より、大会プログラムと当日参加者の受け入れの準備について説明があり、了承された。
 - (2) 会員の入退会の承認について
総務委員会より新規入会者2名、退会者3名の申請が報告され承認された。一般会員人数631名、法人会員5社となった。
 - (3) 各委員会、各地方部会、各研究部会からの報告
総務委員会より、新版の会員名簿の制作状況が報告された。北海道・東北、中部、関西・四国各部会より12月中に部会を開く予定が報告された。
 - (4) 第77回全国研究大会について
次回全国研究大会の開催校である日本大学の高橋先生、実行委員長児玉先生より開催構想が報告された。2018年6月末の金土日の日程で商学部のキャンパスにて開催を予定していることと、統一論題は医療・教育のイノベーションマネジメントをテーマとして想定していることの報告があった。
 - (5) その他
柿崎学会長より、新たに制定された退会時の会費納入規定の公開、機関誌の電子公開の基本方針について、説明があった。

◇◇第76回全国研究大会 企業見学記◇◇

大杉 奉代 (香川大学)

今大会の企業見学は、10月13日、東広島市西条の株式会社サタケの広島本社で行われた。同社は、明治29年に創業した食品産業総合機械、プラント設備及び食品の製造販売業者である。

見学の冒頭では、宗貞広報室長よりご挨拶があり「サタケ精神」である「不可能はない」「謙虚である」「気をつく人になる」の3点などについてお話しいただいた。その後、2名の社員の方から会社概要や事業内容に関する説明が行われた。

企業内見学では、微生物分析室・フードケミカル分析室・穀物分析室や精米工場モデルプラント、選別加工総合センターなどを順に拝見した。また、サタケ歴史館では、初代社長佐竹利市氏が日本で最初に動力式精米機を考案し、生産販売を開始した1896年から、現代まで

の取り組みを拝見した。

個人的に関心を持ったのは、社員の方々が何事にもチャレンジする姿勢、謙虚に学び続ける姿勢、常に問題意識を持ち、改善していく姿勢を何よりも大切に考えて仕事をしていただ点である。

それらをもとに事業分野では、種籾の温湯消毒設備（川上）から、は胚芽米も作れるキッチン用精米機「マジックミル」や、栄養成分「GABA」を豊富に含む「ギャバライス」、手軽で美味しいパックご飯「楽メシ」（川下）まで、お米に関わる製品を幅広く開発を行っていた。また、ワーク・ライフ・バランスの視点では「男性の育児参加の支援」「社内保育士室」「社内結婚推進」「ノー残業デー」など積極的に取り組んでいる。

このような素晴らしい会社が今後どのような発展を遂げていくのか大変興味深く感じた。

株式会社サタケの皆様のご丁寧なご説明のお蔭で、とても充実した見学となった。心より厚く御礼申し上げますと同時に、ますますのご発展をお祈り申し上げます。

◇◇第76回全国研究大会参加記◇◇

吉本 悟史（東洋大学大学院）



2017年10月13日(金)～15日(日)、日本マネジメント学会第76回全国研究大会が広島経済大学で開催された。統一論題は「原点回帰のマネジメント～地方企業からの発信～」であった。14日午前は、計6本の自由論題セッションⅠからスタートし、筆者（吉本）も当セッションにて発表させていただき、諸先生方から大変有益なコメントをいただくことができた。次の統一論題セッションⅠでは、櫻澤仁先生

（文京学院大学）から、「事業創造と起業家精神」をテーマに、本大会のキーワードである“原点回帰”に立脚しながら、地方企業からの事業発信とニュービジネス創造についての報告がなされた。午後からの統一論題セッションⅡでは、株式会社八天堂 代表取締役社長の森光孝雅氏、株式会社イワタ木工 代表取締役社長の岩田知真氏、株式会社コーポレーションパールスター 代表取締役社長の新宅光男氏といった、広島発のビジネスを展開している企業の経営者3名より、自社の事業について“原点回帰”をキーワードに登壇いただいた。次に、ゲストとして統一論題報告いただいた3名の経営者および櫻澤先生をパネリストに、また佐々木利廣先生（京都産業大学）、田中雅子先生（帝塚山大学）をコーディネーターに

迎えたシンポジウムが開催され、“原点回帰”を軸に活発な議論が展開された。特に、日々ビジネスを実践されている経営者の立場と、研究者の立場における“原点”というものの捉え方の違いが浮き彫りにされ、大変示唆に富むシンポジウムであった。

翌15日午前の特別講演では、株式会社アイグラン 代表取締役の重道泰造氏に「行動こそ真実 - 決意したことに一步踏み出す-」という題目で登壇いただいた。病院へのテレビのレンタル事業から出発した同社が、スーツケースのレンタル事業に転換し、さらに保育事業の全国展開へと至る道程について、社長の盤石な経営哲学とともに非常に熱のこもった語りで講演いただいた。そして午後からは、自由論題セッションⅡとして計9本の研究報告があり、どの会場も活発な議論が行われ、無事閉会となった。

本大会では2日間の日程のうち、広島に本拠地を置く4社の経営者に登壇いただくという豪華な内容であったが、4名の社長が抱く“原点”とは、会社が掲げる経営理念やビジョンというより、「いかにお客様の立場に立つか」という、“本来あるべき立ち位置”が共通項だと率直に感じた次第である。先の見えない、不確実な時代であるからこそ、自身の立場や軸を常に意識することが「マネジメント」の要諦なのではないかと、起業家でもある自身も強く実感することのできた、大変有意義な大会であった。

最後になりましたが、期間中は生憎の雨天続きにも関わらず本大会の運営にご尽力いただいた実行委員長の瀬戸正則先生はじめ広島経済大学大学の諸先生方、ならびに学生スタッフの皆さんに厚く御礼申し上げます。

◇◇中部部会・開催報告◇◇

水野 清文 (奈良学園大学)

日本マネジメント学会中部部会では、第56回中部部会を、経営行動研究学会、経営哲学学会との3学会合同により開催予定です。皆様奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

●日 時：平成29年12月9日(土) 13:00～

●場 所：中京大学 名古屋キャンパス センタービル8階0806教室

〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町 101-2 Tel 052-835-7111 (地下鉄鶴舞線『八事』駅5番出口前)

※駐車場は利用できませんので公共交通機関をご利用下さい。

●プログラム

報告(報告35分、コメント10分、質疑15分)

第1報告：13:00～14:00 仲間 妙子(日本経済大学)

「環境リスクマネジメントと経済に関する研究」

司会・コメンテーター：中條 秀治(中京大学)

第2報告：14:00～15:00 檜田 智子(福山市立大学)

「妊娠中の従業員の就業管理に関する一考察」
司会・コメンテーター：高田 一樹（南山大学）

<20分休憩>

第3報告：15：20～16：20 田村 善弘（長崎県立大学）
「韓国における食品流通と消費者」
司会・コメンテーター：東 俊之（金沢工業大学）

第4報告：16：20～17：20 亀倉 正彦（名古屋商科大学）
「Resource-Based View の発展に向けて」
司会・コメンテーター：辻村 宏和（中部大学）

議事：17:20～17:30

参加費等：参加費 500円、懇親会費 3,000円
(懇親会会場：中京大学センタービル 2階教員食堂)

お問い合わせ：日本マネジメント学会中部部会長・蕎麦谷 茂
(TEL：0561-74-1111 E-mail：sobatani@nufs.ac.jp)

詳細につきましては、中部部会事務局・水野 清文（奈良学園大学 〒636-8503 奈良県生駒郡三郷町立野北3丁目12-1 TEL：0745-73-7800 E-mail：k-mizuno@nara-su.ac.jp）までお問い合わせください。

◇◇中部部会からのお知らせ◇◇

水野 清文（奈良学園大学）

中部部会では随時報告者を募集しております。

ご希望の方は中部部会部会長・蕎麦谷 茂（名古屋外国語大学 〒470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57 TEL：0561-74-1111 E-mail：sobatani@nufs.ac.jp）

または、中部部会事務局・水野 清文（奈良学園大学 〒636-8503 奈良県生駒郡三郷町立野北3丁目12-1 TEL：0745-73-7800 E-mail：k-mizuno@nara-su.ac.jp）までお問い合わせください。

◇◇関西部会開催のご案内◇◇

関西部会長 佐々木 利廣 (京都産業大学)

晩秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。さて、平成29年度日本マネジメント学会関西部会第2回例会を下記のとおり予定いたしております。皆さま奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

<報告会>

日 時：平成29年12月16日(土) 午後1時30分～午後4時40分

場 所：関西大学100周年記念館第4会議室

大阪府吹田市山手町3丁目3番35号 TEL：06-6386-3008

会 費：500円

13：30～開会の挨拶

※報告：35分、質疑応答15分

第1報告：時間 13：40～14：30

報 告 者：後藤 祐一 (尾道市立大学)

テ ー マ：「NPOの収益事業」

休憩時間：5分

第2報告：時間 14：35～15：25

報 告 者：上杉 卓三 (大阪大学)

テ ー マ：(仮)「ソーシャルベンチャーの起業分野と事業継続性の分析」

休憩時間：25分

第3報告：15：50～16：40 (実務家招待講演)

報 告 者：島田 幾雄 (株式会社キリン堂総務部顧問)

テ ー マ：『商人(あきんど)の心 経験と知識』

<懇親会> PM 5:30～7:30

バルベラ (正門出てすぐ右手2階のイタリアン)

大阪府吹田市千里山東1-10-1 TEL：06-6337-0235

会費：4000円

※お問い合わせ先

関西部会長 佐々木 利廣 (sasaki@cc.kyoto-su.ac.jp)

関西部会幹事 堀野 亘求 (京都産業大学大学院)

携帯電話：090-8165-1809 E-mail：horino@osakanpo-center.com

山城賞および山城賞奨励賞募集のご案内

平成29年度山城賞（本賞）と山城賞奨励賞を以下の要領で募集いたします。奮ってご応募ください。自薦または他薦をお待ちしております。

1. 選考対象

対象作品は、平成28年10月1日～平成29年9月30日までの1年間に発行されたもの。ただし、対象者は本学会会員であり、応募作品は本学会の研究活動に関連する領域のものとし、同一単行本および同一論文の連続応募は認められない。

2. 山城賞（本賞）の応募対象

単行本（日本語または英語に限る。共著も可であるが、2名までとし各人100頁以上の執筆分担が明確なものとする）

3. 山城賞奨励賞の応募資格

- (1) 対象作品：学術研究雑誌である日本マネジメント学会誌『経営教育研究』第20巻第1号・2号およびこれに準ずる本学会の刊行物に掲載された論文（日本語または英語に限る。共著不可）
- (2) 応募者の年齢：35歳以下（1981年10月1日以降に生まれたもの）

4. 応募方法

- ・自薦・他薦いずれも可。
- ・自薦の場合、当該作品3部および内容要旨（A4用紙で1,200字程度）と履歴書を事務局に提出する。
- ・他薦の場合、自薦の提出書類に加えて他薦の推薦書（A4用紙で以下の6項目を記載したもの）を事務局に提出する。
 - ①推薦者氏名、②推薦者所属機関、③推薦者の連絡先、④著者名および書名（あるいは論文名）、⑤出版社名（発行所名）、⑥推薦理由・提出書類、作品については返却いたしません。

5. 山城賞（本賞）・山城賞奨励賞推薦基準

日本マネジメント学会会員の著書・論文で経営体の諸活動に関する実践的研究の発展の向上に資するものであること。

- ①経営原理の歴史的展開または体系化、さらに経営環境の変化に伴う新しい経営原理の提起に関するもの。
- ②経営原理の実践に関する技法の体系化、技法の新展開に関するもの（経営原理に基づいて開発された技法であること、開発された技法が新しい経営原理を導くものであること）。
- ③研究領域は事業体を問わない（いわゆる非営利事業体の全てをも含む）。また地域的特性（国際化、各国別特性－日本型経営など、各国別比較など）や経営体の機能別（財務、人事・労務、製造、マーケティングなど）、階層別（経営リーダーシップと管理リーダーシップ）分野を問わない。

6. 応募締切：平成30年1月9日(火) 必着

第77回全国研究大会・自由論題報告募集

第77回全国研究大会は、日本大学商学部で、平成30年6月22日(金)～24日(日)もしくは6月29日(金)～7月1日(日)に開催される予定です。つきましては全国研究大会の自由論題報告を募集します。下記要領に従ってご応募下さい。

1. 応募資格

本学会の会員。但し、第76回全国研究大会・自由論題として報告された方の応募はご遠慮下さい。

2. テーマ

本学会の目的に沿う以下のもの。

- ・経営体の諸活動に関する実践的経営の研究
- ・日本の経営および国際的経営の研究
- ・経営者・管理者の実践的能力を育成するための経営教育の研究

3. 応募書類

応募には応募用紙の記入が必要です。日本マネジメント学会ウェブサイトより応募フォーマットをダウンロードし、注意事項を読んで原稿を作成し下記締め切り期日必着にて電子メールまたは郵送でお送りください。

4. 締切

平成30年1月31日(水) 必着

5. 応募先・問い合わせ先

日本マネジメント学会事務局 (担当：武市)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-36 S&Sビルディング 3F

株式会社山城経営研究所内

TEL 03-6674-1836 FAX 03-5228-1233 E-Mail : name@kae-yamashiro.co.jp

機関誌委員会からのお知らせ(論文の投稿に際して)

機関誌委員会委員長 中村 公一 (駒澤大学)

機関誌への次回投稿の締め切りは、平成30年1月31日(水)です。投稿の際には、学会ホームページにあります投稿規程、執筆要領、組見本を遵守して下さい。最近の投稿で、文字数の大幅な超過、投稿者の匿名性が担保できない形式で書かれているもの、図表を極度に縮小し一応は規定枚数内になっているものが複数ありました。このような場合は、受理できずに投稿者に返送することになります。活発な投稿をお待ちしております。

退会と会費納入等について

会長 柿崎 洋一

会員が退会する場合の年会費の取扱いおよび納入義務ならびに退会手続きについて下記の通り定めますので、必ず遵守を頂きたいようお願い申し上げます。

日本マネジメント学会の会計年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとなっており、会員は当該年度の会費を納入しなければならない、また退会を希望する会員は書面をもって退会を申し出なければならないことが、会則に定められている。これを踏まえて、

- 1) 会費納入済の会員が年度途中で退会を希望する場合は、既に納入された年会費は返還できない。
- 2) 会費未納の会員が年度途中または年度末に退会を希望する場合は、遅くとも退会希望日(年度途中か年度末かを問わず)までに会費納入を完了しなければならない。従って、会費納入がなければ、退会届を提出しても、正式な退会手続きとはならず、退会は承認されない。

学会名簿の改定について

この度、平成29年11月1日付けで日本マネジメント学会名簿を改定しましたのでお知らせ致します。名簿の改定版は11月度会報送付時に合わせてご送付します。

つきましては、学会の各種活動に際して名簿をご活用下さい。なお、名簿には、学会会則、理事選挙規程、学会役員・名誉会員一覧、各種委員会・部会長名簿等を含んでおります。

会員の新刊著書を紹介します

(1) 味香興郎・藤井一郎・澤田兼一郎編『業種把握読本』

金融ブックス(株) 2,300円＋税

(2) 宮坂純一・水野清文編著『現代経営学』

株五絃舎 1,400円＋税

※会員の皆様の新刊著書を紹介しますので、事務局へ献本（1冊）をお願い致します。

編集後記

年内の会報はこれで最後です。今年も無事に会報をお届けすることができました。会員皆様のご協力に感謝申し上げます。少し早いですが、よいお年をお迎えください。

(会報委員会)

発行 日本マネジメント学会
(旧称：日本経営教育学会)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-36
S&Sビルディング3F
株式会社山城経営研究所内 (担当：武市)
TEL 03-6674-1836 FAX 03-5228-1233
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp
URL: <http://www.nippon-management.jp/>
印刷 株ドットケイズ TEL 03-5206-1626
E-mail: win@good-ks.co.jp